

# 海風

From PARI,  
KURIHAMA

創刊号  
2001.7

## —世界に貢献する技術をめざして—

読者の皆様には、港湾技術研究所時代はもとより本年4月に誕生した港湾空港技術研究所におきましても大変お世話になっております。独立行政法人化に伴い取り組むべき課題は山程ありますが、その一つとして国民の方々に広く研究所の実情を知っていただくという趣旨から新たに広報誌を発刊することといたしましたので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

独立行政法人は、その業務を効率的かつ効果的に行うことを基本的な目的としておりますが、私といたしましては研究を中心とする諸業務をそのように行うことは当然のこととして、特に基礎研究を重視した高い研究水準の研究所、研究成果とその活用を通じて日本はもとより世界に貢献する研究所、外部の競争的研究資金を積極的に獲得する研究所をめざしていきたいと考えております。

研究所のスタート間もない現時点におきましては、万事走りながら考えているといった状況にありますが、役職員一同、研究所をめぐる新たな環境を肯定的かつ前向きにとらえており、積極的な業務遂行に全力で取り組む所存でありますので、皆様には倍日の御関心を寄せていただきますとともに、厳しくも暖かい御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事長 小和田 亮

### ▼研究棟全景



### —広報誌の名称について—

今回、港湾空港技術研究所の広報誌を発行するに当たり、研究所内で広報誌の名称を募集し、数ある名称の中からシンプルかつ爽やかなイメージのものとして「海風」に決定しました。

なお、「PARI」は、Port and Airport Research Institute（港湾空港技術研究所）の略称から、「KURIHAMA」は、所在地の久里浜から、「海風」は久里浜の海辺から発信する港空研の広報誌という意味で付けました。

## 就任挨拶

## Greeting



理事 高橋 邦夫

土質部長をしていました高橋邦夫です。このたび発足しました独立行政法人港湾空港技術研究所において理事を勤めさせていただくことになりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。独法港空研は、新しい組織として、これまで培ってきた港湾技術研究所の研究をさらに強力に推し進めると同時に、一つには中身の酒としての“新しい研究”に対し、もう一つにはその酒を入れる袋としての“新しいやり方”に対し、我々の行動半径を広げてゆくことを目指すべきであると考えます。これまでの伝統を活かしそして新たに発展すべく、非力ではありますが一生懸命努力してまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

監事に就き、3ヶ月が過ぎました。この間、ことある毎にいろいろな人から、「監事は何をするの」と尋ねられてきました。法律（独立行政法人通則法）では、監事の業務は、「独立行政法人の業務を監査する」、「監査の結果に基づき、必要があると認めるときは、法人の長又は主務大臣に意見を提出することができる」となっています。私は、今日の社会が港湾空港技術研究所に期待し求めていることは何か、港空研のウィークポイントがどこにあるか、港空研理事長が監事に対して何を期待しているか（誤解されたら困りますが、監事の職務を突き詰めていくとこの表現になります）を常に考え、これらに応えるためあるいは克服するために努力します。旧港研時代の研究職の立場とは違ってはいますが、同じように責任を感じ、燃えております。よろしく申し上げます。



監事 加藤 一正



監事 柴沼 文彦

私は今年4月1日「独立行政法人港湾空港技術研究所」発足にあたり、民間より国土交通大臣の指名を受け監事に就任いたしました。

当研究所の役割は港湾空港に関する基礎研究の実施、研究成果の国民への還元、研究を通じた国際貢献と伺っています。

個々の研究内容はわかりませんが、公共上の見地から国民生活に必要であるとして、営利を目的とした民間ではとてもできない研究を、若い研究者の皆さんが使命感を持って行っています。

また、独立行政法人とした狙いは、業務運営の効率化や国民に提供するサービスなど業務の質の向上を目標としているわけですから、港空研広報誌の企画編集にあたっては専門分野にかたよらず、広範囲の情報を発信して、港空研の広報誌として広く皆さんに親しまれるようお願いいたします。



## 独立行政法人港湾空港技術研究所設立披露

平成13年4月1日、中央省庁等改革の一環として、独立行政法人港湾空港技術研究所が発足したのを記念して研究所設立披露を平成13年6月5日に行いました。

当日は環境インテリジェント水槽の完成披露をはじめ、当研究所新館内覧会、高橋海洋・水工部長による「海域施設の性能設計に向けて」を演題にした設立記念講演会と続き、最後に研究所設立披露を行いました。

小和田理事長の挨拶に始まり、来賓の品川国土交通省港湾局環境・技術課長をはじめ多くの方の祝辞をいただき、また、泉国土交通副大臣ほか多数の祝電の披露も行われました。

当日は、金澤国土交通省大臣官房技術参事官をはじめ、独立行政法人評価委員、国土技術政策総合研究所、地方自治体及び関係団体等150名近くの方のご出席をいただき盛大に行うことが出来ました。



▲理事長あいさつ



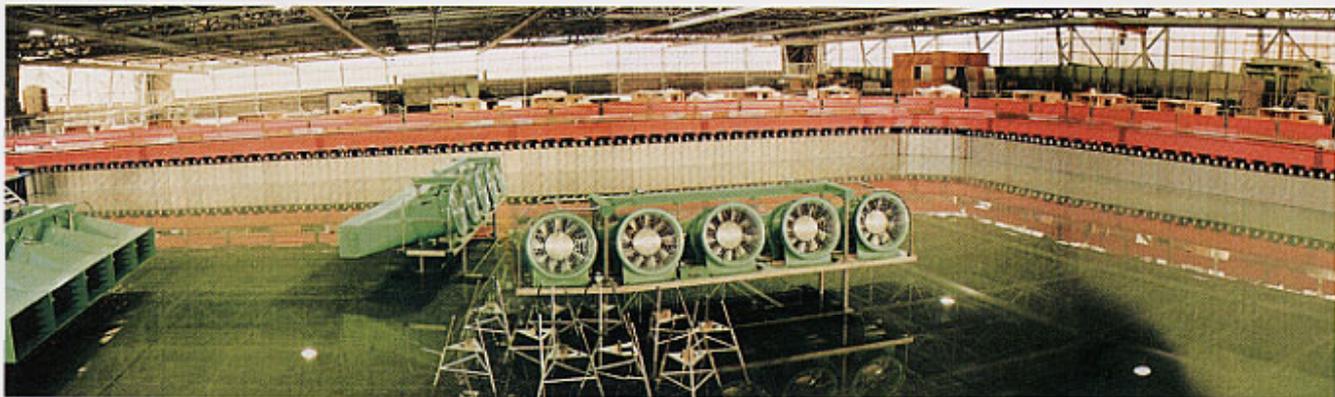
## 環境インテリジェント 水槽完成

平成12年度に整備を進めました“環境インテリジェント水槽”の完成披露式典が6月5日に催されました。本水槽の長さ、幅及び深さは、それぞれ、36m、29m及び1.3mで、二つの側壁に沿って、造波板が設置されています。

水槽の外側には、幅2mの周回水路があり水槽内に流れを発生させることができます。波、流れ、風を再現することにより実際の海に近い状況を再現することができます。

本水槽は、沿岸構造物が波と流れの環境に与える影響を調べるために活用される予定です。

▼環境インテリジェント水槽



### NEWS TOPICS

#### ニューストピックス

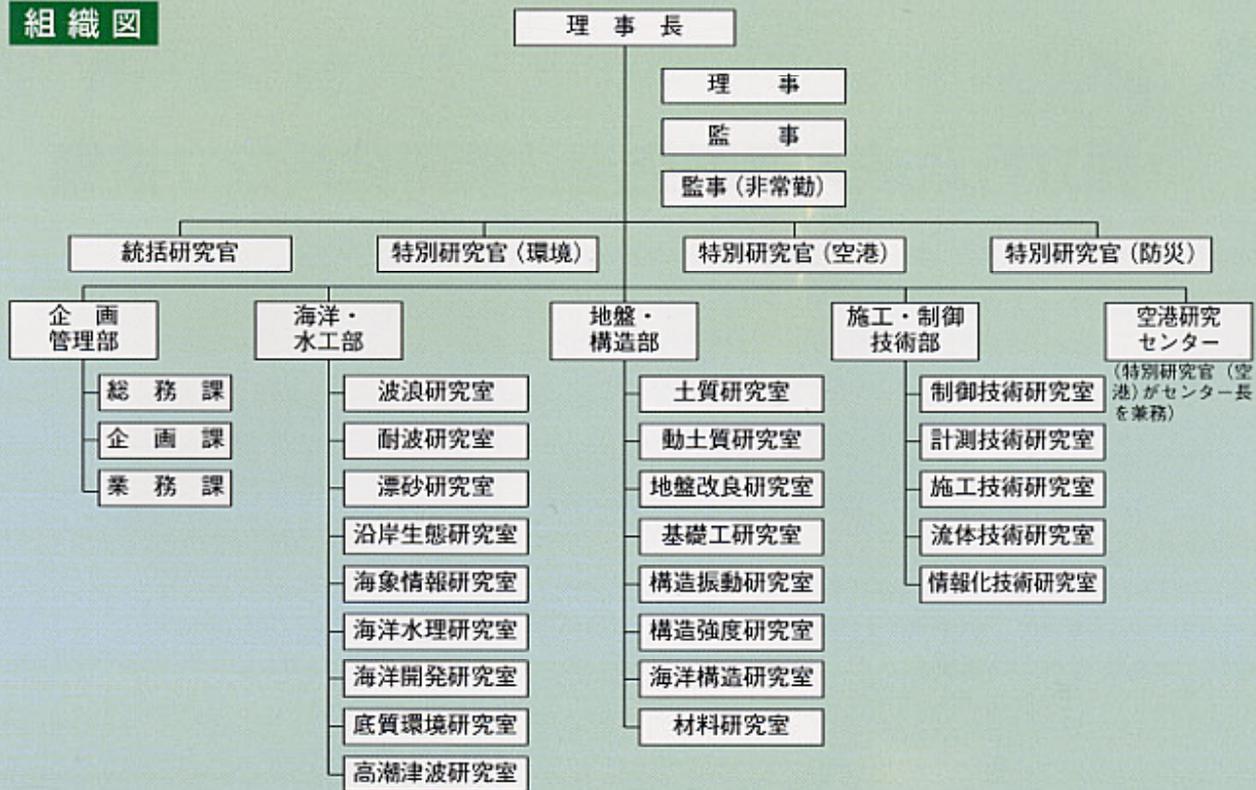
##### ●受賞関係

- ・文部科学大臣賞の研究功績者表彰を海洋・水工部波浪研究室長の平石哲也が受賞しました。
- ・土木学会賞の論文賞を海洋・水工部沿岸生態研究室長の中村由行が受賞しました。
- ・第3回国土技術開発賞表彰式が平成13年7月11日に虎ノ門バスターミナルで行われました。新技術の開発をした企業等が表彰されましたが、そのうち当研究所が共同開発機関であり、「浸透固化処理工法(21世紀型新液状化対策工法)」が優秀賞(国土交通大臣表彰)を受賞し、「SDP工法(静的締固め工法)」が入賞しました。

##### ●国立大学助教授併任

- ・地盤・構造部構造強度研究室長横田弘が東京工業大学の助教授に併任。
- ・海洋・水工部漂砂研究室長栗山善昭が熊本大学の助教授に併任。

# 組織図



## ●概要

港湾空港技術研究所は、港湾・海岸・空港の分野において、基本的な原理現象の解明のための基礎研究及び事業の実施にかかる技術課題の解決のための研究をしております。現在、理事長、理事、2名の監事の4名の役員と112名の職員がおります。そのうち研究職が90名、行政職が22名で、博士号取得者は、34名です。

## ●平成13年度予算計画

総収入	30億3千万円
運営費交付金	16億2千万円
施設整備費補助金	2億6千万円
受託収入	11億3千万円
その他	2千万円

## ●沿革

- 昭和21年 5月 鉄道技術研究所 第七部 港湾研究室として、発足
- 昭和24年 11月 横浜賀市久里浜に移転
- 昭和37年 4月 運輸省港湾技術研究所が設立(当時は、4部体制)
- 平成 3年 4月 8部1センターの体制となる
- 平成13年 4月 独立行政法人 港湾空港技術研究所と国土交通省 国土技術政策総合研究所に分離・移行

## ●イベント案内(7月~9月)

- ◆7月28日(土) 研究施設一般公開  
港湾空港技術研究所 横須賀市長瀬3-1-1  
国土交通省国土技術政策総合研究所との共催で行い、当日は、8つの施設の公開を予定しております。公開時間は、10時~4時となっております。
- ◆7月31日(火)~8月2日(木) サイエンスキャンプ2001  
港湾空港技術研究所 横須賀市長瀬3-1-1  
(財)日本科学技術振興財団が主催で行っている事業で、高校生が研究機関に合宿をし、科学技術について体験学習するプログラムです。当研究所は、今年も全国10名の高校生を受け入れる予定です。
- ◆8月25日(土)~9月2日(日) ロボフェスタ神奈川2001(横須賀)出展  
横須賀市南体育会館 横須賀市久里浜6-14-1  
ロボフェスタのROBOLAB SPECIALというコーナーで当研究所からアクアロボ3号機(展示)と小型陸上実験機(デモ)を出展いたします。

## 編集後記

広報誌「海風—From PARI, KURIHAMA—」がやっと創刊できました。今回の創刊号は、発行作業の開始が遅れたため、短期間の作業となりましたが、これからも紙面の充実等良い広報誌が発行できるよう努力していきますので、広報誌「海風—From PARI, KURIHAMA—」をよろしくお願いたします。

独立行政法人 港湾空港技術研究所

〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1  
TEL : 0468-44-5040 (企画管理部 企画課) FAX : 0468-44-5072  
URL : <http://www.phri.go.jp/> (2001年9月まで)